記者発表資料

いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令和８年５月18日
東北地方整備局

～本格的な出水期に備え、防災体制を確認～

改正水防法等を踏まえた洪水対応演習を実施します

近年、東北地方では、令和元年東日本台風や令和２年７月豪雨、令和４年７～８月の大雨、令和６年７月の大雨などが発生し、甚大な被害を受けています。

こうした水災害に備え、国土交通省東北地方整備局では、地域の適切な防災活動につなげて頂くため、関係機関と連携し、毎年、本格的な出水期を前に大規模な出水・堤防決壊などの重大災害を想定した「洪水対応演習」を実施しています。

今年の演習では、昨年の水防法等改正で大きく変わった「氾濫特別警報」などの防災気象情報を用いて、洪水予報、水防警報、ダム放流警報等を迅速かつ的確に伝達するための演習を行います。

また、堤防の決壊等を想定し、被災箇所での緊急復旧の着手から完了までの対応手順や情報伝達の確認を行うなど、実践的な演習を行います。

◆ **実施日時**

①令和８年５月 20 日（水）9 時 00 分～17 時 00 分
情報伝達訓練等　※10 時 30 分～10 時 45 分頃に取材することができます。
②令和８年５月 27 日（水）
仙台管区気象台との合同会見訓練　※詳細は後日改めてお知らせします。
※ただし、①②とも、当日の洪水や地震の発生等により中止となる場合があります。

◆ **演習会場（①について）**

仙台合同庁舎 B 棟 12 階 災害対策室

◆ **実施機関及び参加機関（①について）**

【東北地方整備局】
本局、13 河川担当事務所、3 ダム統合管理事務所、7 ダム管理所、3 ダム工事事務所
【参加する関係機関】
東北６県、53 市町村、仙台管区気象台及び各地方気象台

◆ **演習内容（①について）**

・洪水予報河川、水位周知河川等における関係機関との情報伝達訓練
・本局と事務所間の WEB 会議による情報伝達訓練（河川巡視点検結果等）
・堤防決壊等被災箇所における緊急復旧計画の立案や復旧工法の検討　など

◆ **取材について（①について）**

WEB 会議による情報伝達訓練の一部(20 日(水)10 時 30 分～10 時 45 分頃を予定)に取材することができますので、同日 10 時 20 分までに仙台合同庁舎Ｂ棟 12 階第４会議室へお集まり下さい。担当者が誘導いたします（別紙参照）。

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会＞

＜問合せ先＞国土交通省　東北地方整備局

仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台合同庁舎 B 棟　（TEL：022-225-2171）（代表）

河川部　水災害予報センター長　八重樫（やえがし）　博男（ひろお）（内線 3851）

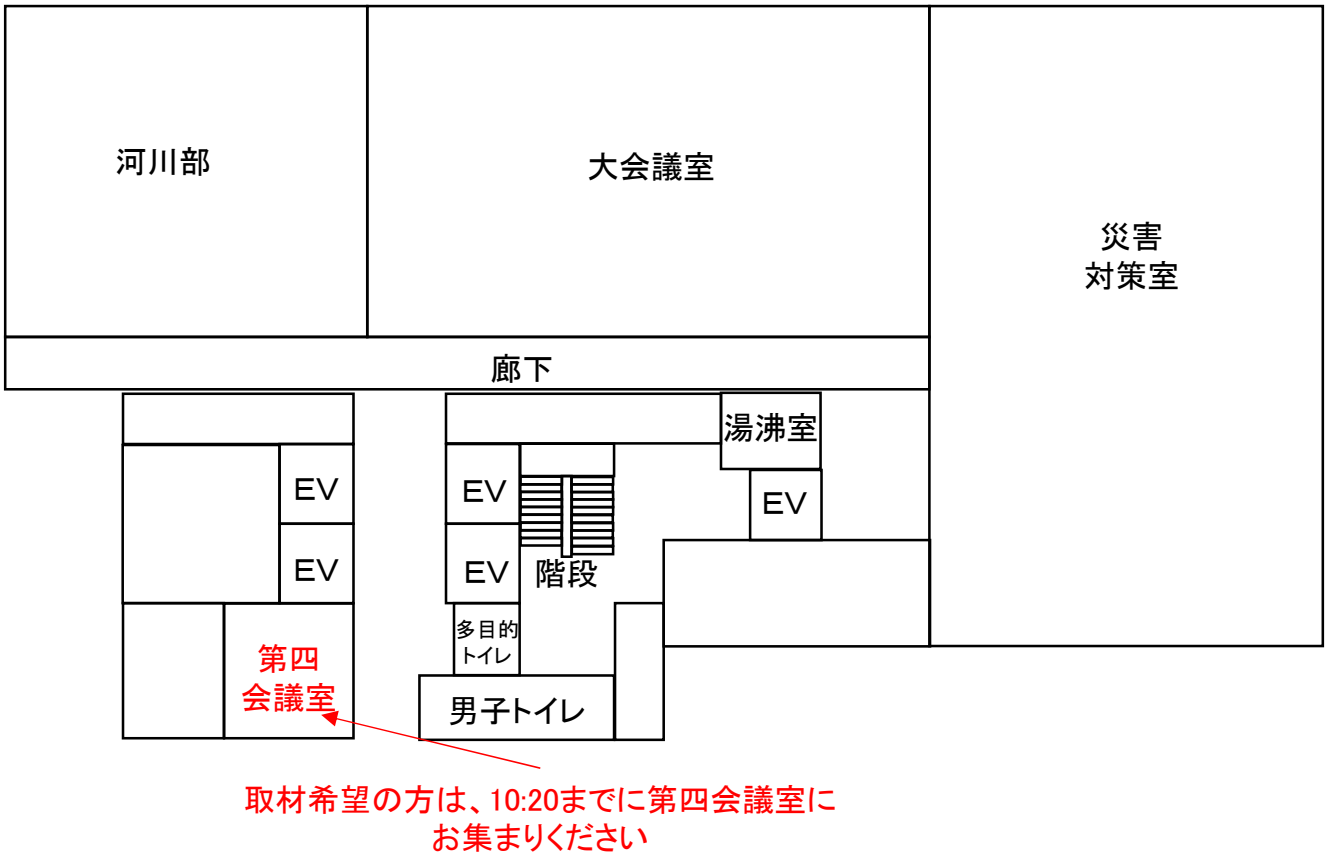
水災害対策専門官　今野（こんの）　浩一（こういち）　（内線 3852）

別紙



東北地方整備局
〒980-8602
仙台市青葉区本町３－３－１
仙台合同庁舎B棟

仙台合同庁舎　B棟　12階フロア



取材希望の方は、10:20までに第四会議室に
お集まりください